

障害者計画(平成27年度～32年度) 進行管理一覧表(抜粋)

Check(評価)は、次の3段階で行う。 ○:計画(目標)通り実施できた、 △:計画(目標)を一部実施できた、 ×:未実施

事業の進捗状況

番号	18	ページ	82	担当部署	地域福祉推進課、障害者福祉課
事業名	その他の福祉啓発				
事業内容	・関係団体活動の交流の「場」の確保や、障害のある人と市民が交流を深めるため、府中市社会福祉協議会を始めとする各種団体のイベントを支援します。 ・障害や障害のある人に対する理解を深めるため、市民が参加できる研修会等を実施します。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	「福祉まつり」等、各種団体のイベントの実施及び支援 精神保健福祉啓発活動事業の実施		同左		
Do(実行)	福祉まつり (あったか府中ささえあいまつり) 10月17日～18日(2日間) 会場 府中公園 当日の参加者数 延23,000人 参加団体数 78団体 依頼協力団体数 28団体 協賛企業 50企業 開催内容 相談・展示・PRブース 模擬店と体験コーナー 特設ステージとお遊びコーナー 復興支援 市民協働実感イベント メンタルヘルス講座 ・日程:平成27年11月17日、平成28年1月28日 ・来場者数:114人(2日間合計)				
Check(評価)					
Act(改善)	互いを知り合い交流を深める場として、引き続き福祉まつりの開催支援を実施する。 一般来場者のさらなる福祉啓発に努めるため開催内容や広報活動を検討していく。				
備考	社会福祉協議会補助金事業				

教育相談の充実

番号	21	ページ	83	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	特別支援相談				
事業内容	・発達障害を含む障害のある児童・生徒のライフステージに応じた一人ひとりの特別な教育的ニーズを把握し、能力や可能性を最大限に伸ばすために、各種相談に応じるとともに、教育的支援を行います。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	府中市就学支援協議会全体会 年間1回 府中市就学支援協議会 年間5回 入級検討会(小学校・情緒) 年間3回 " (小学校・難言) 年間3回 " (中学校・情緒) 年間3回 転学相談 随時		同左		
Do(実行)	就学相談件数:182件(小134件 中48件) 入級相談:76件(小70件 中6件) 転学相談:34件(小28件 中6件)				
Check(評価)					
Act(改善)	就学相談件数が増加傾向にあるため、相談の在り方について検討				
備考					

番号	22	ページ	83	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	障害への理解啓発活動				
事業内容	・教職員への意識啓発研修を充実するなど、教育現場における障害に対する理解と意識の向上を図ります。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	特別支援巡回チームの派遣 特別支援教育研修会の実施 社会福祉体験研修の実施 定例校長会、副校長会でのショート研修の実施と 特別支援教育の理解を図る通信の発行		同左		
Do(実行)	派遣回数:小139回 中26回 相談件数:小569件 中95件 開催回数・参加人数:6回193人 開催回数・参加人数:3回77人 ショート研修を11回実施、通信を4号発行				
Check(評価)					
Act(改善)	教育委員会便りを活用し、保護者への理解啓発を図る				
備考					

学校教育の充実

番号	23	ページ	83	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	特別支援教育の充実				
事業内容	・保護者や関係機関との連携を図りながら、障害のある児童・生徒に対する特別支援教育を充実させます。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	特別支援教育コーディネーター連絡会の開催 特別支援教育研修会の開催 府中エリアネットワークへの参加		同左		
Do(実行)	開催回数:2回 開催回数・参加人数:6回193人 エリアネットワーク拠点校との連携:随時				
Check(評価)					
Act(改善)	エリアネットワーク拠点校である都立げやきの森学園との連携を強化する。				
備考					

番号	24	ページ	83	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	障害の理解				
事業内容	すべての児童・生徒が、特別支援学級の児童・生徒との交流やボランティア活動、社会体験活動や副籍制度などを通して、障害に対する理解を深めます。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	副籍交流の実施 共同・交流の実施		同左		
Do(実行)	実施率(児童・生徒数):98名 全ての特別支援学級(固定)設置校で実施、また、十小、七小、武蔵台小、白糸台小、二中、七中で都立特別支援学校との交流を実施				
Check(評価)					
Act(改善)	副籍、共同・交流の実施をとおした意義の理解について教職員への啓発を一層進める。				
備考					

番号	25	ページ	83	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	通学時等の支援の検討【新規】				
事業内容	障害のある児童・生徒が学校等へ通う際の通学支援、通常の学級に通う生徒の授業中の対応等について検討します。				
年度	27年度		28年度		29年度
Plan(計画)	障害のある児童・生徒への人的・物的側面からの合理的配慮の在り方を検討。 介護者自身の障害や疾病、家庭内に複数の障害者がある等の事情により介護者の付添いが困難な場合には、個々の状況に応じて移動支援事業の支給をしている。(83重複)		同左		
Do(実行)	歩行等に困難のある児童・生徒への介助を行う人的配慮を実施した。 該当者に対し、給付した。 支給人数:7人				
Check(評価)					
Act(改善)	引き続き、相談があった場合には個別に対応していく。				
備考	移動支援事業は、原則的には通学時は対象とならない。				

一般就労への支援

番号	28	ページ	84	担当部署	教育部指導室、障害者福祉課
事業名	特別支援学校・ハローワークなどとの連携				
事業内容	・就労支援事業所等と特別支援学校・ハローワーク等が連携し、一般企業や公的機関などに対して雇用を要請するなど、障害のある人の雇用促進を図ります。				
年度	27年度	28年度	29年度		
Plan(計画)	関係機関連絡会の実施 障害者雇用連絡会議への参加 特別支援学校開催の就労に係る公開講座開催の周知	同左			
Do(実行)	み～なにてハローワーク、特別支援学校及び他市の就労支援センターと定期的な連絡会を行い、情報の共有などに努めた。その結果、ハローワークからの支援依頼や特別支援学校からの引継ぎなどはスムーズに行えた。 ・就労支援事業連絡会 年4回開催 ・市内就労移行支援事業所等が参加。 ・支援センター連絡会 年6回実施 ・定期連絡会 年12回実施 ・障害者雇用連絡会議 年1回参加 ハローワーク府中主催。圏域内の関係機関が参加。 随時周知				
Check(評価)					
Act(改善)	取り組みに対する一定の効果ができているものと考えられる。各関係機関と情報共有することで、障害者雇用に関するニーズを把握し、雇用に関与する件数が増えた。				
備考					

避難行動要支援者支援

番号	87	ページ	94	担当部署	高齢者支援課、介護保険課、防災危機管理課、障害者福祉課
事業名	避難行動要支援者支援体制の整備				
事業内容	・一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人等、災害時に支援の必要な方を把握するため、名簿を作成し、災害時に必要に応じて活用できるように整備します。 ・平常時から避難行動要支援者と接している地域住民、関係者や医療機関と連携を図りながら、地域での支援ネットワークを構築し、情報伝達、具体的支援も含めて避難行動要支援者の支援体制を構築します。 ・発災時における事業活動の継続と被害の最小化を図るため、事業所の事業継続計画(BCP)策定を支援します。				
年度	27年度	28年度	29年度		
Plan(計画)	災害時要援護者支援事業の実施 市立施設のBCPを策定 従前からの介護保険サービス提供事業所に対する集団指導等での事業継続計画の説明や策定の推進を継続し、運営推進会議等において、策定状況の確認を図る。	同左			
Do(実行)	名簿登録者数: 8,884名 救急医療情報キット希望者数: 12,297名 高齢者支援課所管の市立施設4施設中3施設BCPを策定し、未策定の1施設に対して策定を促した。 運営推進会議等への出席を要する事業所数 15事業所				
Check(評価)					
Act(改善)	次期基幹システムによる効率化を図った。今後も地域防災計画の見直しを踏まえて、名簿の更新、新規対象者への意向確認等、事業を継続実施していく。 BCPについても策定を促すとともに、必要に応じて見直しを協議していく。 運営推進会議を開催する事業所が限られていることから、一部の事業所の策定状況の確認にとどまったため、さらに多くの事業所の確認に努める。				
備考					